

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンC

講師 朝比奈 朋子 先生(東京成徳大学 准教授)

【講師略歴】日本社会事業大学卒業後、淑徳大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻を修了。現在は、東京成徳大学の准教授で、日本における貧困問題の実証に関する研究や、高次脳機能障害者の地域生活支援に関する実践的研修を行っており、数々の著書、論文を執筆。その他、習志野市障害支援区分認定審査会委員や八千代市介護保険事業運営協議会委員・八千代市公的介護施設等整備事業者評価委員会委員を務めており、数多くの場で活躍している。平成26年度より、当協会のグループスーパービジョンの講師として、生活アセスメントについて、講義とスーパービジョンを行っていただいている。

開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			11日	9日	20日	10日	1日	12日	10日	21日	18日	11日
開催時間	18時30分～20時30分 第2または第3月曜日開催											
会 場	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口 徒歩8分）											
対 象	経験年数2年以上の方 注：認定社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> がありますと、 証明書は発行出来ない場合があります。											

～朝比奈 朋子先生より～

このグループでは、「生活アセスメント」の理論と手法を用いてGSVを行います。医療機関の中で唯一、クライアントを「生活者」として支援・援助する立場のMSW。当たり前のことすぎるけれど、本当にクライアントの「生活」を理解した上でソーシャルワークを行っているのでしょうか。

「どこまで患者の話を聞いていいのかわからない」、「さまざまな情報を基に支援をしているのに、患者・家族の考えていることがよくわからない」、「自分の行った支援がよかったのか自信がない」等々、イマイチすっきりしない思いを抱えて日々の業務をしている方は、クライアントの「生活」を十分に捉えないまま支援していることに原因があるかもしれません。

このグループでは、まずはわたしたちの生活のしくみを講義で確認した上で、「生活アセスメントシート」に記入した事例を持ち寄り、丁寧にクライアントの生活を捉えることを通じて「クライアントが見える」（共感的に理解する）ようになることを目指します。これらの過程を繰り返すことで、各自が生活を理解する視点を持ち、自信を持って日々のソーシャルワークを行うことができるようになることを目標とします。1年間ともに学び合い、明日からのソーシャルワークを自信のあるものに変えましょう！

参考文献 生活アセスメント研究会編集『福祉・介護に求められる生活アセスメント』中央法規 2007
※参考文献はあくまでも参考です。

～昨年度の受講者の声より～

◆「生活を見るために、クライアントの出身・職業など現在に繋がるクライアントを理解するにあたってのポイントを認識することができた」

◆「受講してアセスメントの大切さを再認識することができた。生活アセスメントを通じて、クライアントの理解を深めることができた」

◆「先生の人柄からか、とても穏やかな雰囲気です。毎回学ばせてもらった。生活アセスメントの視点として、方法論だけではなく、職業的な背景（給与形態や役職による退職時期の傾向等）を学ぶことができ、大変勉強になった」